



南・港 子ども食堂

給食費無償化 市会陳情提出へ



大阪市教南大阪支部、港支部はそれぞれ地域のきづがわ医療福祉生協の組合員とともに1月20日、子ども食堂を行いました。西成子どもと教育を守る連絡会「キッズ・ダイニング西成」には8人の子どもと子育てママが次々参加し、寒風吹きすさぶなか炊き込みおじやと交流で体も心も温まりました。(写真上)

「このまち子ども憩いの場」ではカレーとふかしさつまいものおやつ。食後は20人をこえる子どもたちが、あんながたどと歌いながら、お手玉を回して大笑い(写真下)。学校の友だちとゆっくりと遊び、近所の



「子ども食堂」に大阪府として補助を行うこと、●小中学校給食を無償化すること、●中学校給食の就学援助について、現行の半額ではなく全額を援助すること、●就学援助の所得基準をあげ、縮小した対象を拡大すること、を求める陳情を提出します。職場からの多数の陳情署名集約を呼びかけます。子どもの貧困を解決する施策を大阪市に引き続き求めます。

教育がめる府チャレンジテスト 市小中学校経年調査

大阪府の「中学生チャレンジテスト(1、2年生)」が1月12日行われ、翌日の朝日新聞夕刊は、「中学校一テスト半数欠席 大阪府南部 教員の発言誤解か」と報じました。その後、「休んでもいい、先生が言った」(朝日)、「別の2中学校も大量欠席」(毎日)と続きました。

「塾が指導 受けなくていい」 「学校が、休んだ生徒に聞き取りした結果、塾から指導を受けていない方が多い」といわれた。電話があったという保護者も不安

中学統一テスト 半数欠席	中学統一テスト 生徒88人欠席
大阪府の公立中学1、2年生を対象に1月に実施された府統一テスト「チャレンジテスト」の結果、大阪府南部の中学校で、1月12日の朝日新聞夕刊は、「中学校一テスト半数欠席 大阪府南部 教員の発言誤解か」と報じました。その後、「休んでもいい、先生が言った」(朝日)、「別の2中学校も大量欠席」(毎日)と続きました。	大阪府の公立中学1、2年生を対象に1月に実施された府統一テスト「チャレンジテスト」の結果、大阪府南部の中学校で、1月12日の朝日新聞夕刊は、「中学校一テスト半数欠席 大阪府南部 教員の発言誤解か」と報じました。その後、「休んでもいい、先生が言った」(朝日)、「別の2中学校も大量欠席」(毎日)と続きました。

市労組連 政令市最下位の賃金 賃金カットに根拠なし

市労組連は年末の第3回回交に続き、賃金カットの中止を求める交渉を再開。市側は賃金カットが条例で平成29年度までとなっており、大阪市の「今後の財政収支概算」(平成28年2月版)の「通常

収支不足」を根拠に市長は「依然として財政状況が厳しい」として賃金カット継続を指示しており、賃金カットを再提案してききました。市労組連は大阪府が人件費を削り続け、平成27年度一般

結果、「塾から受けなくていい」といわれた。内申が下がることあるから休んでいいという情報があり、休んだという回答もあった(朝日)。

「テスト前には保護者から中学校に『点数が低かったら、内申書の評価が下がる』という話が広まっている。学習塾から『テストを受けられない方がいい』という電話があったという(産経)」。昨年度から予想された事態です。昨年度、府下の中学校の学年だよりは、「無理に受験することは勧めません。…体調の悪い中でテストを受けることで、不利になってしまふこともありま

下位のラスパイレース指数94.2はダントツに低く、保育士をはじめ人材確保ができていないことを訴え賃金カット中止を粘り強く求めました。しかし市側は市会の日程の関係で交渉打ち切りとしました。市労組連は1月19日付速報で「ブラック自治体をさげすみ続けるのか」の見出しで職員にアピールを

を1日でうけた児童は、「疲れ切っていた」との声を上げました。問題用紙と回答用紙がちがうことで、混乱する子がいた。診断テストで練習した。保護者の声として「なぜ問題をもって帰れないのか」、「このテストなんなんですか」があった。中学校にも受け継がれる。結局は個人の「学力」を特定し、全体の平均と比べること。平均や基準で子どもを評価することにつながる。

大阪市の子どもたちは、小学校3年生から全市統一テストを受け、6年生は全国学力テストもあります。過去問練習のため4月は教科書の学習に入らない学校も出ています。中1・2のチャレンジテスト、中3は全国学力テストに大阪市統一テストとテスト漬けです。中学

大阪市の子どもたちは、小学校3年生から全市統一テストを受け、6年生は全国学力テストもあります。過去問練習のため4月は教科書の学習に入らない学校も出ています。中1・2のチャレンジテスト、中3は全国学力テストに大阪市統一テストとテスト漬けです。中学

安全・安心・おいしい 給食めざす運動を 給食シンポジウム

1月28日に、豊かで安全な学校給食をめざす大阪連絡会のシンポジウムがあり、「学校給食のこれからを考える」をテーマに会長の榎原正澄関西大学教授の講演がありました。大阪府の学校給食の現状や中学校給食の意義についてもふれられ、「食は人権の一環」食べることが

に掲げているのに、廃園は逆行していると思う」などの意見が出されています。吉村市長は、「幼稚園、保育所ともに民間にゆだねていくという基本的な方針は前市長の方針から変わっておりません」と発言。北・西・中央・福島・天王寺区で児童増加が見込まれるなか、教室不足を理由とする幼稚園廃園は許せません。

新採用者・講師 歓迎!

しんかんフェスタ

講演 内田麟太郎さん
絵本作家

日時 4月29日(土) 13時半~
会場 たかつガーデン
▶レセプションパーティーもあります

連続講座 先輩のワザ、伝授
第1回 学級開き・学級づくり

講師 保木良太さん
日時 4月7日(金) 18時半~
会場 アネックスパル法円坂(森ノ宮・谷四)

大阪府小中学校学力経年調査

西船場幼稚園廃園反対 教育環境改善できない